

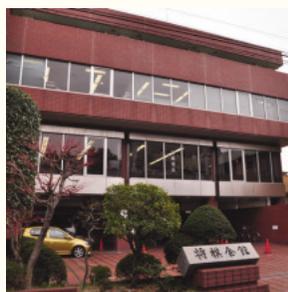
創立100周年事業 東西将棋会館建設ご支援のお願い

日本将棋連盟は2年後の2024年に創立100周年を迎えます。将棋は平安期に始まり、江戸期・徳川家康による御城将棋を経て、1924年に現連盟の前身が結成されました。棋士が全身全霊の棋力と人間力をもって挑む盤上の戦い、白熱のダイナミズムは現代も色褪せることなく、さらに近年はAI活用と相まって、無限の可能性を示しています。

女流棋士の活躍に加え、洞察力や礼節など青少年の研鑽の場としても期待される中、8大タイトル戦を中心に日々報じられ、ネット・メディアを通じた観戦者数は数百万人規模へと広がっています。企業においても内閣総理大臣杯・職域団体対抗将棋大会は116回開催の歴史のもと400チーム以上が参加するほか、家庭での世代を超えての対局など楽しみ方は様々で、コミュニケーションツールとして皆様の活力の一助となれば喜ばしい限りです。



関西将棋会館 (提供: 日本将棋連盟)



東京・将棋会館 (提供: 日本将棋連盟)

さて、100周年事業として東西両将棋会館を新たに建設いたします。東京は現在と同じ渋谷区千駄ヶ谷の地に、関西は大阪市から高槻市へと移転します。現会館は、当時の塚田正夫会長、大山康晴将棋会館建設委員長(その後会長)らの音頭により、東京の会館が1976年、関西の会館は1981年に建設されました。いずれも約半世紀が経過し、老朽化とともにネット配信設備の整備やバリアフリー化、セキュリティ対策など課題を抱えています。

新たな歴史を刻む総本山として、また文化振興の拠点として、先達の意志を引き継ぎ将棋界の1層の発展に向けて、次の100年に繋げたいと存じます。ご支援・ご寄付を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。



公益社団法人日本将棋連盟 会長

佐藤康光 九段

(さとう・やすみつ)

1969年10月1日生まれ。京都府八幡市出身。1982年12月、6級で田中魁秀九段門。1987年3月四段。1998年6月九段。1993年12月、第6期竜王戦で初タイトル獲得。1998年6月、第56期名人戦で名人位を獲得。2006年7月、第77期棋聖防衛により「永世棋聖」の資格を得る(名乗るのは引退後)。2011年4月、日本将棋連盟棋士会会長。2017年2月、日本将棋連盟会長(現職)。同年4月、「紫綬褒章受章」。同年7月、通算1000勝で特別将棋栄誉賞受賞。タイトル獲得は、竜王1、名人2、棋王2、王将2、棋聖6の合計13期。

寄付手続きに関する詳細は、下記QRコードからご覧ください。



【本件照会先】

日本将棋連盟 総務部
TEL: 03-3408-6166
FAX: 03-3404-7301